

■第3回 村上駅周辺まちづくりプラン座談会の結果 (平成26年2月6日) テーマ：駅周辺のまちづくりについて

議論① 登場人物の洗い出し

[凡例 / ●出された意見 ★：複数意見]

登場人物	意見	班	
① 住民	●年中、地区内に居住する	★高齢者増 ★子供減、若者少ない	B・C
	●高齢化が進み、徒歩圏内で用事をすませたい	●15分で動ける範囲が限界	A
	●空き屋を無くしたい	●自由通路があれば便利程度	
	●旧ジャスコ跡地等を便利にしてほしい	★一人暮らし(東西問わず)	B
		●アパート ●空家多 ●コミュニティ薄	
② 商店街	●商品の仕入・販売・サービスをする	●買物は駅西(原信、マックスバリュー)	
	●売上を伸ばしたい・後継者を確保したい	●朝、散歩する人多い	C
	●空き店舗・空き地を無くしたい	●新しいもの、おしゃれなもの好き	
	●駐車場が少ない	●跡地をどの程度利用できるのか?(土壌の問題)	D
	●村上病院の移転は困る	●高床にするなど(下は駐車場)	
		●固定客が多い→意外と広範囲(神林、山地から車で)	A
		●コンビニで色んなものが売っている	
		●大型店にない魅力がある??	
		●ジャスコがあったときは、すみわけができていた	
		●サービス業多い ●店舗	B
③ 買い物する人	●徒歩・自転車で買い物をする	●飲食 ●理容美容	
	●特定少数のリピーターが多い	●借家で商売 ●日用店舗なし	
	●国道7号沿いに無い特徴的なお店を好む	●物産店なくなった ●近くに居住	
④ 学生	●学校に通う(鉄道・徒歩・自転車・送迎)	●ジャスコ、プラザなくなって衰退	
	●高校生が多く、放課後は図書館・塾等を利用する	●20年くらいで店舗数半分以下(37件)	
	●コンビニをよく利用する	●お酒と野菜 ●個人客相手の店舗は少ない	C
	●鉄道等の待ち時間の居場所がない	●田端町、町内の商店(商売する)の内、約100店の店は、田端町外の人に来て商売している→駅東口に人が集まる為(学生込み)だと考える	D

登場人物	意見	班	
⑤ 労働者(勤め人)	●職場に通う・サービスを提供する	★事業所が減→労働者減(集積させたい)	B・C
	●車移動が主	●病院の職員数が多い!!	A
	●休日は地区内にいない	●病院と関連 ●県職員→飲み屋減	B
⑥ 通院者(病院利用者)	●病院に通院する	●宿泊する ●どこに連れていこう?と思われる	C
	●薬局にも用事がある	●入院患者(見舞いにくる人もいる)	A
	●運転が困難な高齢者が増えてくる	●最近、買わなくなった(金を使わなくなった)	
⑦ 観光来訪者	●よそ者	●車で来る ●高齢者が多い	B
	●瀬波温泉や町屋観光を行う	●見舞いで買物 ●商店街で食事	
	●地域の情報を知りたい	●今は通いやすい(前ほど混んでいない)	C
	●お土産を買いたい・思い出を残したい	★温泉客は送迎バス(移動に困っていない)	B・C
	●電車の待ち時間を有効利用したい	★歩く人がいる(駅~町屋)	
		●お金を持っているが、意外とシビア(昔に比べると使わない。リピーターが多いせい?)	A
		●泊まる人→安く泊まって、うまいものを食べたい(泊食分離)	
		●定期的に来る人いる	B
		●人との出会い・ふれあいがうれしい	
		●電車好き(撮影に来る) ●小路(迷路)が好き	C
⑧ 公共交通のみを利用する人(地区内に用事無し)	●車を自由に使えない	●一番この地域を魅力的な印象を持っている	
	●地区内に関心がない	●村上市場(六斉市)来る人 ●海水浴に来る人	
⑨ 交通事業者	●知らないお店に入りにくい	●村上大祭を見に来る人(電車を利用)	
	●待ち時間の居場所がない	●休憩、飲食がない ●とてもしずか	
⑩ 企業・事業者	●鉄道 ●バス ●タクシー	●物産が多い ●団体より個人が増えている	
	●病院 ●その他事業者	●大きな観光マップはあるが、短時間で案内できるものがない	
⑪ 団体・組織	●JA ●観光協会	●いかに駅前に外からの誘客ができるか	
	●まちづくり団体	●スポーツする人	
⑫ 行政	●国 ●新潟県・県警		
	●村上市		

## 議論② 将来あるべき姿の検討

[凡例 / ●出された意見 ★：複数意見]

将来像	登場人物（誰が・誰と誰が）	内容（何を・いつ・どこで）	実現に向けた課題・制約	班
にぎわい	①田端町住民（ばらはちかん）	★月一回のイベント（スポーツ・商店街イベント、駅前で若手が神輿）		AとD
	①住民、②商店街、⑩観光協会	★村上芸能祭りを開き、参加する（能・神楽の獅子舞、大滝舞踊） ★新しいイベントをつくる（酒祭り・村上ジャズフェスティバル）		B
	②商店街と⑪農家、④学生	●JA主催の野菜市・花市開催の増加 ★駅前で六斉市のような定期市（県振興局の軽トラ野菜市のような地場産市、フリマ）	●道路（病院跡地？・JAの前？）	AとD
	⑨交通事業者	●イベントに合わせてもっと蒸気機関車を呼ぶ		A
	②商店街と③買い物する人	●病院跡地を色々な貸出しできる場所にする ●空き店舗を利用してチャレンジショップを開設する		B
	③買い物する人	★空き店舗を利用（高齢者の生きがいサロン、高校生のまちづくりサロン、まちづくり拠点）		B
	④学生	●あいさつ運動		B
	①住民と④学生（高校生・リハビリ大学生）	●地域との触れ合い（将来また来てくれる）	●労働環境（子供を見てくれるところ） ↑預かりたい人はいっぱいいる	D
	①住民	★芸能文化人が来ると住人が集まる・物が売れる		D
	①住民・②商店街と④学生	●学生からアイデアを聞く、住民から話を聞く（町内会・商店街）	●そういう機会をつくる	A
	⑫行政と①住民、②商店街	●病院跡地に来るそこから全てが始まる ●集まる、買う	●行政の情報公開 ●リーダーシップ ●お金（予算）	D
	④学生と②商店街、⑤労働者	●学生がバイトできるおしゃれなフードコートをつくる		C
—	<その他店舗・施設整備> ●本屋さんの復活（高校生がいても立ち寄る本屋さんは必要） ●大型店に対応して専門店を集める ●駅前に安く最高のもを食わせてくれるレストラン ●駅前の旅館の宿泊客が夜飲みに行く店 ●中学・高校生向けのアミューズメント施設 ●病院の跡地を白堀の建物に（手形を入れる板を100円で売ってボランティアの費用にする）		A	
暮らしやすさ	①町づくり協議会と②花屋	●町づくり協議会・環境部会の駅前花壇の整備事業を使い、駅前の花屋さんと一緒に花や草木を増やす	●町づくり協議会の町内支援事業を活用する	A
	①住民と②商店街	●幼・小・中統一した教育計画をつくるなど教育に市民の力を入れていく ●遅れがちな小・中学生に教えていくシステムをつくる ●高齢者の見守りネットワーク		B
	②商店街と⑫行政	●保育園の周りの道路を、時間を区切って通行制限をして駐停車しやすくする		B
	④学生と⑩企業	●インターンシップ、雇用創出	●個人事業主が多いため、募集できる人数が少ない	C
	①住民	●支え合う仲間・輪作り		C
	①住民	●町内の子供清掃活動		D
健康・元気	②商店街と⑫行政	●予防医学的な施設をつくる		B
	④通院者（患者）	●瀬波温泉で年中治療（町も潤う）		D
	①住民	●駅からのウォーキングコースで出会いの場を作る（出会い系）	●場が無い	C
	①住民と⑦観光来訪者	●出会った人を案内する⇔趣味の合う人と友達をつくる（電車・まつり・釣りなど）	●荷物を預ける無料のコインロッカーが必要（儲からないが観光PRになる）	C
魅力・発信	②商店街	●町中のブランドを売る店を駅前に作る		
	①住民と③買い物する人 ②商店街と④学生、⑦観光来訪者	●求めるものと与えられるものが合うといい	●情報の発信の仕方がわからない（発信できる人求む！）	C
	②商店街	★村上の新しいタウン誌をつくり、村上に何があるのか紹介		B
	②商店街	●フリーペーパー（MOCA）の強化	●取り扱いが少ない	C
	③買い物する人と②商店街	●地域振興券などのちょっとしたお得感を生み出す	●高齢者向けの情報が集まらない	C
	②商店街	●観光客に向けた物産PR		D
おもてなし	②商店街と⑦観光来訪者	●観光客になにか体験していただく（各お店で工夫を！） ●海水浴客が満足するような海岸設備にしていく		B
	—	●駅を基点とした都市計画の再整備 ●街全体の徹底したサイン計画をつくる ●東口は町屋地区まで、西口は瀬波温泉まで緑のプロムナードをつくる		B